

<b>SEA&amp;SEA</b>		1218-Z-01A
<b>50124</b>	<b>MDX-5D Mark III 用内蔵型YS CONVERTER / C</b>	
<b>50125</b>	<b>MDX-6D用内蔵型YS CONVERTER / C</b>	

## 取扱説明書

この度はシヤーンシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みいただいた後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

## 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にご利用ください。

### 危険

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が高いと想定されます。

### 警告

取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

### 注意

●本製品を分解・加工改造(ハンダ付けなど)・加熱・火中投入などをしないこと。火災や感電、発火・発煙の恐れがあります。分解・加工・改造品の浸水・破損・故障等の保証は、いたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。

### 警告

- 指定以外のバッテリー／電池は使用しないこと。指定以外のバッテリー／電池を使用すると、ガスが発生して破裂する恐れがあります。
- 本製品と液体(汗)との接触は、必ずバッテリー／電池をはずすこと。バッテリー／電池を装着したまま取柄・運搬すると、薬液がすぐにスイッチ／カメラに入り、火災の原因になります。
- カメラハウジングを開けた際は、人体に向かないこと。バッテリー／電池の発熱などが原因で本体内部が高圧になると、カメラハウジングが勢いよくはじけることがあります。ケガの原因になります。
- 本製品の内部に水や異物を入れないこと。水没の原因となります。本製品は防水構造になっていますが、何らかの原因で内部に水が入ったときは、すぐにスイッチを切り、使用を中止してください。
- 濡れた手でバッテリー／電池をはずさないこと。感電の原因になります。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所では、使用しないこと。引火や爆発の原因になります。
- 本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

### 注意

- 煙が出る、異音・異臭がするときは、ただちに使用を中止してご購入の販売店にご相談ください。
- 万一、浸水した場合は、ただちに使用を中止し、すぐに修理を申し込んでください。
- 浸水した場合は、内部の圧力が高くなる場合があります。カメラハウジングを開けるときに水が吹き出したり、カメラハウジングが弾けたりすることがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。
- 本製品は気密構造となっています。密閉した状態で、航空機などで運搬すると、内外の気圧差が生じることがあります。密閉しない状態で運搬してください。
- 水しぶきのかかること、湿気が多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の閉鎖をおこなわないでください。水没や海水・浸水などによる故障の原因になります。
- 強い電磁気的妨害の発生する場所では、正常に作動しなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を落としたり、振りまわしたり、撮影機材を持ったまま歩行から急に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
- ストロボライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- 本製品および取り付けられたアクセサリー類は必ずハウジングを指し上げたり、落とさないでください。落下・破損など、思わぬケガや故障の原因になります。持ち運ぶ際は、ハウジング本体やグリップをお持ちください。

- 本製品の上に重いものを置いたり、乗っからないでください。重量で本体が変形したり内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
- 使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください。(詳しくは「お手入れと保管上のご注意」をご覧ください)
- 接続していたシンクロコード類をはずして洗剤等は、必ず本製品のコネクターキャップを閉めて、防水された状態で洗ってください。
- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 高温になる場所に放置しないでください。特に炎天下や夏夏の中、車のトランクの中は非常に高温になりますので、絶対に放置しないでください。本製品は一部プラスチックを使用していますので、熱で本体が変形したり内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温と湿った環境下で製品を密閉した状態で放置すると、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じ、浸水や結露を生じる場合があります。
- 水に濡れたところや湿気が多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ナフタリンや樟脳が入っている場所や、美妝室などのような薬品を扱う場所に本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなくなった場合でも、撮影内容、および撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。

●本製品をご使用中に、万一、お客様の取り扱い上の不注意により破損・損傷などが生じた際のカメラ、レンズ、その他の部品やアクセサリー等の交換・修理はいたしかねます。

- リングの取り扱いはつきまはては、リングメンテナンスマニュアル(付属品)をご覧ください。
- 本書の記載内容の誤りについての情報は「容赦ください」。
- 仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 電池の使用上のご注意

### 危険

- バッテリー／電池を火中に投入したり、加熱しないこと。
- バッテリー／電池に直接ハンダ付けしないこと。
- バッテリー／電池を分解・改造しないこと。発熱・発火したり、強アルカリ性の液が飛散して危険です。
- バッテリー／電池の端子(+)と-)に金属物(針金やネックレスヘアピンなど)を接触させないこと。また、金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないこと。バッテリー／電池の液れも発熱・発火・破損などにつながる恐れがあります。
- バッテリー／電池の液れも発生した場合は、すぐに火気より遠ざけること。もれた液や気体に引火して、発火・爆発の恐れがあります。
- 万一、バッテリー／電池の液れも発生し、液が皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水でよく洗います。皮膚に傷を起すことがあります。液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をこすらずにきれいな水で洗い、ただちに医師にご相談ください。
- バッテリー／電池はプラスチック、マイクスの向き決められています。充電器や機器に接続するときうまくつながらない場合は、無理に接続しないでください。プラスチック、マイクスの向きが合いません。
- バッテリー／電池を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差込み口に直接接続しないでください。

### 警告

- バッテリー／電池を水や海水等につけたり、端子部分を濡らさないこと。バッテリー／電池を発熱させたり、端子等の子びの原因になります。
- バッテリー／電池のケースや外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと。バッテリー／電池が液れもれ、発熱・破損する原因になります。
- バッテリー／電池が液れもれ、変色・変形、その他従来と異なる場合は使用しないこと。異常と感知したときは、すぐに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- バッテリー／電池を積って飲み込むことがないように、本体およびバッテリー／電池は、特に乳幼児の手の届くところに置かないこと。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
- バッテリー／電池を直射日光の当たるところや炎天下の車内、ストーブの前などの高温の場所で使用、放置しないでください。バッテリー／電池の液れもれ、発熱、性能低下、寿命短縮の原因となります。

### 注意

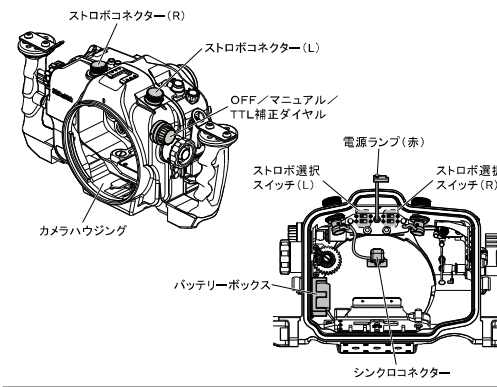
- バッテリー／電池に強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。
- バッテリー／電池の端子が腐ると機器との接触が悪くなり、電流が切れる、充電されないなどが起こります。乾いた布などで拭いて端子をきれいにしてから使用してください。
- バッテリー／電池を使用機器に接続した状態で長時間放置しないでください。また、ご使用後は、使用機器のスイッチを必ず切り捨ててください。液れもれが原因となります。
- バッテリー／電池を使用しない場合は、液れもれやサビを避けるために使用機器からバッテリー／電池を取り出し、-20～30℃の湿気のない場所で保管してください。

## お手入れと保管上のご注意

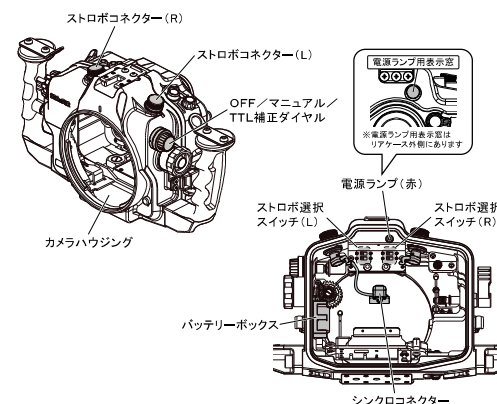
- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用になった後は、必ずコネクターキャップを取り付け、防水されている状態で、充分に真水につけてから流水で洗ってください。可動部分(シャッターやボタンなど)は油かきがら洗ってください。
- 充分に真水で洗った後、流水で洗うだけは塩分が残り、乾燥すると塩結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくい、浸水の原因になることもありますので、必ず真水に充分に洗ってください。
- 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
- 熱を発生する器具で強制乾燥させないこと。変形や破損の原因となる場合がありますのでおやめください。
- 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿・直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、美妝室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ご使用になった後は、バッテリー／電池を取り出して保管してください。
- ご使用になった後は、リングのメンテナンスを必ず保管してください。ご使用前の前後に必ずリングの点検をし、早めの交換をすすめます。
- ご使用の頻度や保管状態によっても異なりますが、製品の性能を維持するために、お買い上げいただいた日から2年毎に1回を目安に、オーバーホール(有料)にお出しすることをおすすめします。

## 各部の名称

### 【MDX-5D Mark III】



### 【MDX-6D】

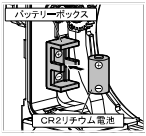


## 使用方法

### 電池の装着

本製品に使用できる電池は、CR2リチウム電池のみです。指定以外の電池は使用しないでください。

- OFF/マニュアル/TTL補正ダイヤルがOFFになっていることを確認する
- バッテリーボックスの+のマークに合わせて、電池を入れる
  - 電池の向きを間違えないように注意してください。



### 注意

- 電池残量が少なくなると、電源ランプは点滅します。電源ランプが点滅した場合は、新品の電池と交換してください。
- 電池を装着、または交換する際は、本体の水分を十分に拭き取り、乾いた手で起こってください。特に毛髪やウエットティッシュからの水滴にご注意ください。感電や製品の故障・浸水の原因になります。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取り出して保管してください。

### カメラ本体との接続

カメラをハウジングにセットした後に、下記の手順で本製品と接続してください。カメラのセット方法につきましては、各カメラハウジングの取扱説明書をご覧ください。

### 1 シンクロコネクターをカメラ本体のアクセサリーシューに差し込む

- シンクロコネクターを取り付け、取りはずす際は、必ずコネクター部分を持ってください。コードを押し引きすると、コネクターの破損や接続不良の原因となります。

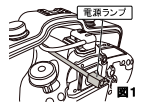
### 2 シンクロコネクターのコードの抜き込みがないことを確認しながら、ハウジングを閉じる

### MDX-5D Mark IIIをご使用の場合

本製品をMDX-5D Mark IIIでご使用の場合は、下記の手順で電源ランプをカメラ本体にセットしてください。※MDX-6Dをご使用の場合には、この作業は必要ありません。

### 1 カメラをハウジングにセットする際、電源ランプがカメラ背面にあるようにする(図1)

- 電源ランプのコードを強く押し引きすると、コネクターの破損や接続不良の原因となります。



### 2 カメラ本体のアイキャップ閉じ、電源ランプを取り付ける(図2)



### 3 カメラハウジングを閉じた後に、液晶窓から電源ランプが見えるか確認する(図3)

- 電源ランプが見えない場合には、カメラハウジングを開け取り付け位置を調節してください。

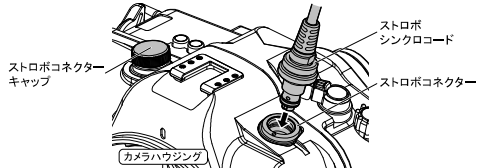


### ストロボとの接続

カメラハウジングにはストロボコネクターが2基装備されており、ご使用のストロボに合わせて各ストロボ選択スイッチをセットすることで、ストロボ1灯もしくは2灯を使用することができます。

### ストロボの接続方法

- カメラハウジングのストロボコネクターキャップをはずす
- カメラハウジングのストロボコネクターに、ストロボシンクロコードを接続する
  - シンクロコード接続の方法につきましては、ストロボの取扱説明書をご覧ください。



### 注意

- ストロボとの接続は、必ず、すべての機材の電源をOFFにしておこなってください。電源を入れたままコードの抜き差しをすると、機材の故障等、思わぬトラブルの原因になります。
- 接続状況によっては、カメラがストロボを認識しない場合があります。そのような場合は、全ての機材の電源をOFFしてから、コネクターの電源を入れなおしてください。
- 当社対応製品以外の製品には使用しないでください。対応製品以外でご使用になられた場合の保証はいたしかねます。

### ストロボコネクターの取り扱い

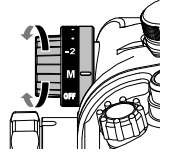
#### 注意

- コネクターの金属端子部分を指で触らないでください。また、コネクターの金属端子部にシリコングリスを付着させないでください。万一、シリコングリスや汚れが付着した場合は、柔らかい布などできれいに拭きとってください。
- 本体やカメラからシンクロコードを取りはずしたときは、必ずコネクターキャップを取り付けコネクターを保護してください。
- 本体やカメラからシンクロコードを取りはずして水洗いするときは、必ずコネクターキャップを取り付けてから起こってください。
- 水中で使用する際、シンクロコードを取りはずすときは、水が入らないよう必ずコネクターを下に向けてはずしてください。

### 各部の操作

#### OFF/マニュアル/TTL補正ダイヤル

電源のOFF(OFF)、マニュアル撮影(M)とTTL撮影の切り替え、およびTTL撮影時のストロボの光量補正をおこないます。ダイヤルをMまたは、TTLの範囲(-2.0→+2.0)にすると電源ランプが赤色に点灯し、コンビネーターが起動します。

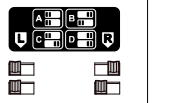


※弊社で定めたストロボの光量補正係数であり、EV値ではありません。1/3ステップでの補正が可能であり、1方向に調節するとストロボの発光量が増え、1方向へ調節するとストロボの発光量が減ります。

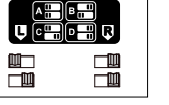
#### ストロボ選択スイッチ(L/R)

ご使用になるストロボに合わせて、ストロボ選択スイッチをご設定してください。

①ストロボ選択スイッチ(L)をAモードに(R)をBモードにセットした場合の例



②ストロボ選択スイッチ(L)をCモードに(R)をDモードにセットした場合の例



#### 【MDX-5D Mark III】

ストロボモード	A	YS-D1・YS-110α・YS-120
	B	YS-250PRO
	C	YS-90DX・YS-90AUTO
	D	YS-110α・YS-90 Duo
	D	YS-110

#### 【MDX-6D】

ストロボモード	A	YS-D1
	B	YS-250PRO
	C	YS-110α
	D	※このモードは使用しません

#### セッティングのご注意

#### 注意

- 本製品とカメラを接続している状態でカメラの電源がONになっている場合、カメラのバッテリーの消耗が早くなる場合があります。ご使用にならない時は、カメラの電源をOFFにするか、ハウジング内部のシンクロコネクターをカメラからはずすことで、本製品とカメラとの接続を解除してください。

### TTL撮影

- ご使用になるストロボに合わせて、ストロボ選択スイッチ(L/R)をセットする
- コンビネーターの補正ダイヤルをTTLの範囲(-2.0→+2.0)に合わせる
  - 本製品にストロボを2灯接続でご使用になる場合、1灯(片方)だけの光量を調節(補正)することはできません。
- ストロボはTTL撮影のスイッチ設定にする
  - ストロボの設定方法につきましては、ストロボの取扱説明書をご覧ください。

#### 注意

- ご使用になるカメラを下記のように設定してください。
- 被写体の色再現性を高めるには、ISO感度はISO400以下での設定をおすすめします。
- 露出補正を0に設定してください。
- ストロボシンクロ方式は、先発シンクロに設定してください。
- E=TTL II 設定方式のキヤノン製カメラをご使用の場合、カメラのメニューにあるカスタム機能「E=TTL II 露光方式」を「平均露光」に設定してください。
- 設定の方法につきましては、カメラの取扱説明書をご覧ください。
- 撮影時には、接続されたストロボはフリッシュします。
- YS-90シリーズとYS-60はストロボの特性上、微小発光ができません。接続・取り付けなどで発光がオーバーになる場合がありますので、下記方法での撮影をおすすめいたします。
- 各ストロボに付属の減光フィルターを使用する。
- 被写体からストロボを遠ざける。

### マニュアル撮影

- ご使用になるストロボに合わせて、ストロボ選択ダイヤル(L/R)をセットする
- コンビネーターの補正ダイヤルをマニュアル(M)の位置に合わせる
- ストロボは、マニュアル撮影のスイッチ設定にする
- 各ストロボで、光量を調節する

#### 注意

- 本製品にご使用中に電池残量がなくなった場合でも、OFF/マニュアル/TTL補正ダイヤルをOFFにして、ストロボをマニュアル撮影スイッチに設定することで、マニュアル撮影ができます。また、電池を入れずにご使用する場合も、同様にマニュアル撮影ができて、ただし、カメラはストロボを認識しません。

### 仕様

電源	CR2リチウム電池1本
連続使用時間	約24時間(25℃環境下 電源ランプ点滅時) ※点滅後約12時間使用可能
使用環境温度	1℃～40℃
質量	約120g(陸上)
付属品	CR2リチウム電池※・取扱説明書(本書)

- ※1 仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※2 付属品の電池はリチウム電池です。過充電機能が発揮されない場合があります。その場合は新しい電池を購入してご使用ください。